

第108回定例会	
令和元年度一般会計決算…	2
補正予算・条例に関する議案…	6
その他の議案……………	7
一般質問	
今 勝吉議員……………	10
大高恒藏議員……………	12
決算に関する特別委員会……	19
深浦小学校6年生が議会を見学…	23
議員管内視察・議会活動……	26

第63号

令和2年11月13日発行

秋晴れの中、園児たちは、乾燥した稲を脱穀機へ運ぶお手伝いをし、米作りの苦労や毎日いただくお米の大切さを感じることができました！  
(みはる保育園)



## 実りの秋！収穫の喜びを満喫！

(写真提供 みはる保育園)

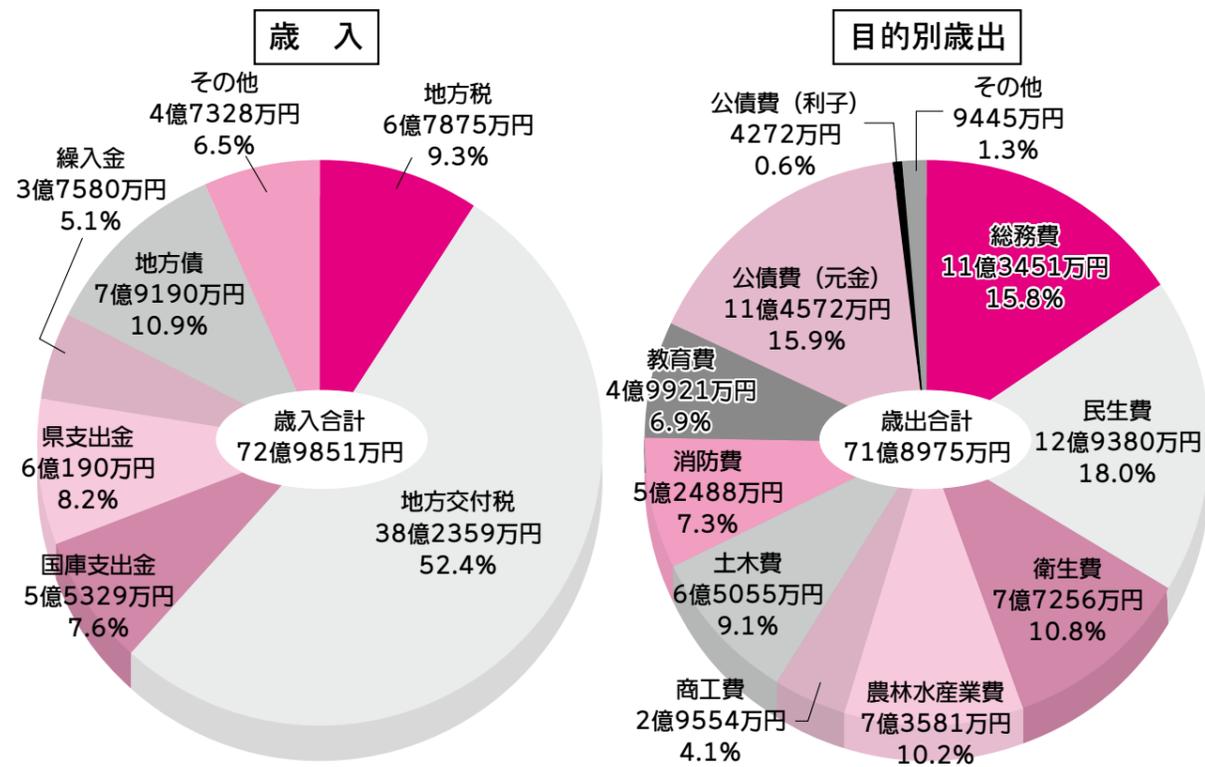
# 深浦町議会第108回定例会

# 令和元年度 一般会計決算

# 歳入72億9851万円 歳出71億8975万円などを認定

## 1億876万円の黒字 (翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた実質収支1億489万円の黒字) ※千円単位を四捨五入して表示しています。

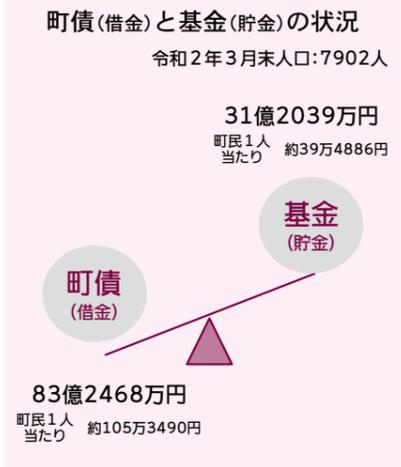
### ◆一般会計決算の内訳



### ◆議案第1号から第8号まで 深浦町一般会計ほか歳入歳出決算

会計区分	歳入	歳出	差引	
議案第1号 一般会計	72億9851万円	71億8975万円	1億876万円	
特別会計	議案第2号 国民健康保険事業 (事業勘定)	12億5734万円	12億2281万円	3454万円
	(直診勘定)	2億4102万円	2億3204万円	898万円
	議案第3号 後期高齢者医療	1億3026万円	1億2848万円	178万円
	議案第4号 介護保険	15億2358万円	14億7954万円	4404万円
	議案第5号 訪問看護ステーション	1310万円	1208万円	102万円
	議案第6号 下水道事業	3億3149万円	3億2842万円	307万円
	議案第7号 財産区	106万円	0万円	106万円
合計	107億9636万円	105億9311万円	2億325万円	

会計区分	損益計算書		貸借対照表		
	項目	金額	項目	金額	
企業会計	議案第8号 水道事業	給水収益	1億6114万円	資産の部	50億6389万円
		経常損益	△1365万円	負債の部	40億1197万円
		当期純損益	△1411万円	資本の部	10億5192万円



- 定例会の日程
- ・9月4日(金) 全議案一括上程
  - ・9月5日(土)・6日(日) 提案理由の説明
  - ・9月7日(月) 休会
  - ・9月10日(木) 一般質問
  - ・9月11日(金) 休会
- ◆議案審議・採決
- ・9月8日(火)・9日(水) 決算に関する特別委員会設置
  - ・9月10日(木) 決算に関する特別委員会
- ◆(今勝吉 大高恒藏)



▲熊谷 孝代表監査委員

第108回定例会は、9月4日から11日までの8日間の会期で開かれました。今回の定例会では、令和元年度決算関係議案8件、令和2年度補正予算関係議案8件、条例関係議案7件、その他の議案3件、報告7件、陳情2件、発議5件、合わせて40件を審議しました。

また、一般質問では、2人の議員が登壇しました。

◆監査委員の決算審査意見

熊谷代表監査委員から令和元年度歳入歳出決算審査結果の報告があった。

- ・一般会計及び特別会計の歳入歳出決算並びに水道事業会計決算は、計数等に誤りがなく執行状況も適正である。
- ・健全化判断比率は、何れも早期健全化基準を下回っており、これまでの財政健全化に向けた成果が表れていると評価できる。
- ・歳入の町税について、前年度から0.2ポイント減の徴収率95.3%だったことから、今後一層の徴収努力を期待する。
- ・歳出については、予算執行における経費節減、合理化対策などが浸透し、効率的な運営が年間を通して伺える。しかしながら、依然として厳しい財政状況にあるので、今後は財政標準規模に合わせた歳出構造の見直しを図りつつ、効果的な予算配分に努め、住みよいまちづくりと健全な財政運営の両立が実現されることを期待する。

# 令和元年度一般会計決算 歳出の主なもの

町予算がきちんと執行されたか、決算に関する特別委員会で慎重に審議し、すべての会計決算を認定した。その中の一般会計歳出の主なものをご紹介します。(P19～22に関連記事)

決算額は、令和元年度のみ金額であり、全体事業費ではありません。複数年事業もあります。また、金額は千円単位を四捨五入しています。

5343  
万円



## 大戸瀬地区定住促進住宅新築 (定住促進住宅整備事業費)

大戸瀬地区に戸建て住宅2棟と前面道路を整備した。

1億  
3978  
万円



## 荷捌施設整備補助金 (水産業強化支援事業費)

新深浦町漁業協同組合が整備した荷捌施設に対し支援をした。

3388  
万円



## モノレール設備改修 (ウエスパ椿山施設管理費)

老朽化が著しいレール(85.1m)を改修した。

5209  
万円



## 防災広場整備 (北金ヶ沢地区防災広場整備事業費)

津波発生時の緊急避難場所として、また平時は観光客の駐車場として整備した。

7337  
万円



## 広戸橋架替 (道路ストック事業費)

経年劣化や塩害などの損傷が著しい道路橋の架替をした。

1億  
3754  
万円



## 町道十二湖公園線道路改良 (道路改良事業費)

特に幅員が狭くカーブが多い区間479.7mの道路を拡幅した。

3300  
万円



## 白神岳避難小屋改修 (岩崎地区観光施設管理費)

外壁や内部の腐食が著しいため改修した。

- 海水処理施設機能強化工事費 963万円
- 水産物供給基盤機能保全事業費(風合瀬・轟木漁港) 7120万円
- 北金ヶ沢地区漁業集落道整備事業費 1668万円
- 土木費
- 住宅リフォーム推進事業費 1009万円
- 道路ストック事業費(森山橋架替) 3798万円
- 町道北金ヶ沢28号線道路改良事業費 1123万円



- 消防費
- 消防屯所整備事業費(柳田地区消防屯所新築) 1562万円

- 総務費
- 第三セクター経営健全化対策費 3000万円
- 民生費
- プレミアム付商品券事業費 1174千円
- 子どものための教育・保育給付費 2億8157千円
- 地域子ども・子育て支援事業費 1281万円
- 衛生費
- 予防接種費 1324万円
- 子ども医療給付費 1611万円

- 健康調査費 1927万円
- 農林水産業費
- 有害鳥獣駆除対策事業費 1661万円
- 西海岸広域農道整備事業費 4894万円
- 新規就農総合支援事業費 1530万円
- 林道築樺沢宮崎線開設事業費 4387万円
- 合併処理浄化槽設置費補助金 1084万円
- 海岸漂着物対策推進事業費 1128万円

5422  
万円



## スポーツセンター解体 (岩崎スポーツセンター管理費)

老朽化が著しく使用できないため解体した。

### 補正予算議案

◆議案第9号  
令和2年度深浦町一般会計補正予算  
歳入歳出それぞれ1億6207万円を追加し、歳入歳出予算の総額を8億6989万円とした。

#### 【歳出の主なもの】

- 総務費 1133万円
- 賦課徴収費 1133万円
- 戸籍住民基本台帳費 1165万円
- 農林水産業費 338万円
- 農村地域防災減災事業 338万円
- 水産物供給基盤機能保全事業費(蠟木漁港) 1800万円
- 商工費 292万円
- 十二湖情報発信施設管理費 292万円
- 教育費 682万円
- 歴史研究事業費 682万円

#### ◆議案第10号から第16号まで 令和2年度深浦町特別会計・水道事業会計補正予算

会計区分	補正額	総額
議案第10号 国民健康保険(事業勘定)	△404万円	13億566万円
(直診勘定)	434万円	2億2605万円
議案第11号 後期高齢者医療	189万円	1億4779万円
議案第12号 介護保険	2580万円	15億3160万円
議案第13号 訪問看護ステーション	776万円	2136万円
議案第14号 下水道	565万円	1億8495万円
議案第15号 財産区	7万円	507万円
合計	4147万円	34億2248万円

会計区分	補正予算額	総額	
企業会計 議案第16号 水道事業	収益的収入	237万円	4億3575万円
	支出	115万円	4億6687万円
	資本的収入	2000万円	4318万円
	支出	136万円	2億1492万円

### 条例に関する議案

◆議案第17号  
深浦町議会議員選挙区条例を廃止する条例  
町村合併後、最初の町議会議員選挙により選出される議員任期に限り、旧町村の区域に応じた選挙区を設ける旨を規定した条例を廃止する。

◆議案第18号  
深浦町選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例  
日前投票所等の導入に伴い、選挙長等の報酬額を次のとおり改定する。

区分	報酬の額(日額)	
	【改正前】	【改正後】
期日前投票所の投票管理者、同職務代理者	11,300円	11,300円
うち、開所時間が4時間以内の投票所	—	4,800円
期日前投票所の投票立会人	9,600円	9,600円
うち、開所時間が4時間以内の投票所	—	4,000円

◆議案第19号  
深浦町水力発電施設周辺地域交付金振興基金条例を廃止する条例  
深浦町水力発電施設周辺地域交付金振興基金の目的が既に達成した。また、今後その目的のために積み立てる予定がないため、当該基金に関する条例を廃止する。

◆議案第20号  
深浦町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の改正に伴い、所要の整備をする。

改正の内容は、次のとおり  
①幼児教育・保育の無償化に伴う食事の提供に要する費用の取り扱いの変更  
②特定地域型保育事業における保育所等の連携施設の確保の見直し  
③その他、基準の改正に伴う用語等の整理

◆議案第21号  
深浦町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
居宅介護支援事業所の管理者要件について、主任介護支援専門員の確保が著しく困難である等やむを得ない理由がある場合、主任介護支援専門員を管理者としない取扱いを可能とする経過措置期限「令和3年3月31日」を「令和9年3月31日」へ延長する。また、令和3年3月31日時点で管理者であった介護支援専門員を引き続き、経過措置期限まで当該事務所の管理者とすることができる旨を規定する。

◆議案第22号  
深浦町木材加工センター条例を廃止する条例  
深浦町木材加工センターが、行政財産から普通財産になったことに伴い、深浦町の公の施設でなくなつたため、条例を廃止する。

### その他の議案

◆議案第23号  
深浦町白神岳登山施設の設置に関する条例  
白神岳登山に訪れる登山者の安全確保と施設の適正な管理及び運営に関し必要な事項を定める。  
内容は、次のとおり  
(名称及び位置)

名称	位置
白神岳登山口	深浦町大字黒崎字日野
広場休憩所	1番地105
白神岳避難小屋	深浦町大字追良瀬字南追良瀬山 国有林1-1林班多小班

(利用の制限)  
次のいずれかに該当するときは、利用を制限することができる。  
①公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。  
②登山施設を破損又は滅失するおそれがあるとき。  
③登山施設の設定目的に反するおそれがあるとき。  
④その他公益上又は管理上不適当と認めるとき。  
(利用料)  
無料とする。

#### ◆議案第24号

町道の路線認定の件  
路線名：第五小浜線  
起点：大字黒崎字小浜185番3  
終点：大字黒崎字小浜189番1  
幅員：3・0メートル



▲第五小浜線

#### ◆議案第25号

町道の路線認定の件  
路線名：十二湖海浜公園線  
起点：大字松神字下浜松33番地28  
終点：大字松神字下浜松26番4  
幅員：5・5メートル



▲十二湖海浜公園線

#### ◆議案第26号

深浦町過疎地域自立促進計画画変更の件  
過疎地域自立促進特別措置法の規定に基づき、深浦町過疎地域自立促進計画を変更する。

### 報告

◆報告第1号  
専決処分した事項の報告の件  
(つがる西北五広域連合の共同処理する事務の変更及びつがる西北五広域連合規約の変更について)

◆報告第2号  
健全化判断比率報告の件  
◆報告第3号  
公営企業資金不足比率報告の件  
◆報告第4号  
深浦町が出資している法人の経営状況について  
(深浦町食産業振興公社)

◆報告第5号  
深浦町が出資している法人の経営状況について  
(株式会社ふかうら開発)  
◆報告第6号  
深浦町が出資している法人の経営状況について  
(しらかみ十二湖株式会社)

### 陳情

◆報告第7号  
深浦町教育委員会事務の点検及び評価報告の件

◆陳情第1号  
後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の陳情  
一定所得以上の人の医療費窓口負担引き上げは、後期高齢者の生活及び医療の受診に大きな影響を及ぼすことが懸念されることから、窓口負担のあり方については現状維持に努めること。  
提出者：青森県高齢期運動連絡会  
会長 二川原 一  
青森県社会保障推進協議会  
会長 大竹 進



第108回定例会では、9月7日に一般質問が行われ、2人の議員が町政全般について質問しました。掲載は質問順で、質問と答弁は、広報委員会が要約したものです。

1 今 勝 吉 議員 (10 ページ)

- ①自然公園の景観保全について
- ②観光地が求める経済活動の対応について
- ③災害と避難所の感染防止対策について
- ④都市と地方の新しい生活様式について

2 大 高 恒 蔵 議員 (12 ページ)

- ①COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) に対する今後の取組について
- ②高等教育就学支援金制度について
- ③木造高校深浦校舎募集停止について
- ④再生可能エネルギーの対応について
- ⑤野良ネコの対応について
- ⑥災害時の避難所確保とCOVID-19 (新型コロナウイルス感染症) の関係について
- ⑦株式会社ふかうら開発の経過と今後について

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、執行機関に行財政の運営や現行の政策、将来に対する方針などについて考えを問ひ、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。

# 町政をたただす

## 発議

◆陳情第2号 「学校給食の無償化」を求めめる陳情  
 公教育の機会均等の立場から、居住する地域によって教育費負担に著しい格差を生じさせることなく、すべての小・中学校で学校給食を実施し、国の責任で、給食費の無償化をおこなうこと。  
 提出者：学校給食の無料化をめざす青森市民の会  
 和田 力

◆発議第1号 後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書  
 後期高齢者の暮らしと健康、命を守るために必要な医療を確保するという観点から後期高齢者の医療費窓口負担の現状を維持することを求めるべきと判断し、意見書を提出する。  
 提出者：小野信吾議員

◆発議第2号 新型コロナウイルス感染症の激な悪化に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書  
 地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する新型コロナウイルス感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想されることから、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方税財源の確保を求めることが重要と判断し、意見書を提出する。  
 提出者：小野信吾議員  
 賛成者：工藤博利議員

◆発議第3号 「学校給食の無償化」を求めめる意見書  
 公教育の機会均等の立場から、居住する地域によって教育費負担に著しい格差を生じさせることなく、すべての小・中学校で学校給食を実施し、国の責任で学校給食費の無償化を行うことと判断し、意見書を提出する。  
 提出者：小野信吾議員  
 賛成者：工藤博利議員  
 今 勝吉議員  
 内閣総理大臣

◆発議第4号 深浦町議会委員会条例の一部を改正する条例  
 総務文教常任委員会の所管を改正する。  
 提出者：小野信吾議員  
 賛成者：工藤博利議員  
 今 勝吉議員

◆発議第5号 深浦町議会会議規則の一部を改正する規則  
 請願の審査報告の取扱いに關して、実情などを勘案し、審査の結果区分について規定を改正する。  
 提出者：小野信吾議員  
 賛成者：工藤博利議員  
 今 勝吉議員

◆9月定例会 採決状況一覧 ○賛成 ×反対 議長(小野文之)は採決に加わらない。

議案等	岩谷司	岩根環	今勝吉	斉藤登	大高恒蔵	小野信吾	堀内榮治	亀川肇	藤田一則	工藤博利	小野文之	議決結果(賛成:反対)
議案第1号~第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定(10:0)
議案第9号~第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(10:0)
報告第1号~第7号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
陳情第1号~第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択(10:0)
発議第1号~第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(10:0)

# 町政をたどす

**問** 町長  
 ①町では、1983年（昭和58年）に日本海中部地震が発生した5月26日を「深浦町防災の日」に定め、毎年5月に、町民の防災意識を高め、



▲深浦港に襲来した津波の様子 ※記録写真集「日本海中部地震 津波 深浦を襲う」から抜粋

②今、災害が発生した場合、避難所における新型コロナウイルスの感染防止策が求められている中で、当町として県保健所及び医療関係者との連携はどうか。

**答** 町長  
 感染者や感染の疑いのある方は、保健所受付時の検温や問診によつて、避難スペースを分けたり、場合によっては保健所の指示を仰ぐことになる。

**問** 今議員  
 ①日本海中部地震から37年が経過し、当時の災害を知る世代も少なくなつてきている現状である。その教訓を今後どのように生かすのか。

**答** 町長  
 ①当町の柳田から北金ヶ沢、黒崎地区を除く海岸部、十二湖から白神山地に連なる一帯が「津軽国定公園」に指定されており、それ自身が、主要産業の一つである観光振興の資源と認識した上で、更なる相乗効果と来訪者の利便性・快適性の向上のため、観光施設の整備を行ってきたが、社会環境の変化や旅行目的の多様化等により、過去に整備した施設の利用率が低下し、老朽化が進行してきた。このことは、学校施設や産業振興施設も同様で、今後、国の財政支援措置を活用しながら、公共施設の更新や統廃合、長寿命化などを図っていくこととし、自然景観に悪影響を及ぼすような遊休施設は、優先順位を定めて計画的に解体をしたい。しかし、補助制度の条件で県などの調整を要する施設は、解体までに時間を要する場合がある。

**問** 今議員  
 コロナ禍による新しい生活様式に伴い、当町における若者やシニア層への移住促進のための施策を伺う。

**答** 町長  
 新しい生活様式の中にあつては、リモートワーク従事者の交流会や移住等に関するオンライン相談会開催が増え、きており、これからはオンラインでの相談が当たり前になると推察している。

この状況下における移住促進施策として、住まい・仕事・子育て等の分野での支援が必要とされ、当町においても若者世帯による住宅取得や賃貸住宅入居への助成、仕事に役立つ資格取得費用の助成、起業又は新分野進出等への助成、所得に関わらず高校生までの医療費無償化等、様々な施策を実施しており、次年度以降も引き続き実施していく予定としている。

また、新型コロナウイルスによる新しい生活様式の提唱により、若者世帯だけでなくシニア層の移住相談に対しても、住まいや仕事、福祉分野でどのような支援ができるのか情報収集を進め、関係機関と検討していきたい。

# 町政をたどす



こん 今 議員  
 かつよし 勝吉 議員

**問** 自然公園の景観保全について

**答** 解体までの間は財源を要するため自然景観に配慮した管理を行っていく

**問** 今議員  
 コロナ禍により観光と一次産業を振興策とする当町への影響は計り知れない。今後の展望と地域経済への対応策を伺う。

**答** 町長  
 ①当町の柳田から北金ヶ沢、黒崎地区を除く海岸部、十二湖から白神山地に連なる一帯が「津軽国定公園」に指定されており、それ自身が、主要産業の一つである観光振興の資源と認識した上で、更なる相乗効果と来訪者の利便性・快適性の向上のため、観光施設の整備を行ってきたが、社会環境の変化や旅行目的の多様化等により、過去に整備した施設の利用率が低下し、老朽化が進行してきた。このことは、学校施設や産業振興施設も同様で、今後、国の財政支援措置を活用しながら、公共施設の更新や統廃合、長寿命化などを図っていくこととし、自然景観に悪影響を及ぼすような遊休施設は、優先順位を定めて計画的に解体をしたい。しかし、補助制度の条件で県などの調整を要する施設は、解体までに時間を要する場合がある。

**問** 今議員  
 ①町内にある旧観光施設、空き校舎等、それらが生活関連施設として転用される町づくり計画があるのか。

**答** 町長  
 国立公園とは、「我が国の風景を代表するに足りる傑出した自然の風景地であること」また、国定公園は「これに準ずるもの」として、共に環境大臣が指定することを自然公園法第2条に規定されている。

この状況下における移住促進施策として、住まい・仕事・子育て等の分野での支援が必要とされ、当町においても若者世帯による住宅取得や賃貸住宅入居への助成、仕事に役立つ資格取得費用の助成、起業又は新分野進出等への助成、所得に関わらず高校生までの医療費無償化等、様々な施策を実施しており、次年度以降も引き続き実施していく予定としている。

また、新型コロナウイルスによる新しい生活様式の提唱により、若者世帯だけでなくシニア層の移住相談に対しても、住まいや仕事、福祉分野でどのような支援ができるのか情報収集を進め、関係機関と検討していきたい。

また、コロナ禍による影響はまだ続くものと思われるが、経営が落ち込むような一次産業に取り組んでいく。

また、コロナ禍による影響はまだ続くものと思われるが、経営が落ち込むような一次産業

# 町政をただす

の高校に入学・進学する生徒が増えることを想定し、新型コロナウイルス対策のような一時的なものではなく、恒常的な対策として検討する必要があるものと考えている。

④国の制度で、新型コロナウイルスの感染拡大の影響でアルバイト収入が減り、生活に困っている大学生など一人当たり10万円、住民税非課税世帯の学生には20万円を給付する「学生支援緊急給付金制度」があった。

また、各大学等においても、独自に授業料免除などの困難学生に対する支援策を講じている。県内の各市町村の動向を見ると、独自に学生支援を行っている市町村もあるが、そのほとんどが大学・短大等の学生を支援していることから、当町出身者の大学生などに対する一時的な給付金の支給について、検討していきたい。



⑤漁業者支援として、地方創生臨時交付金を活用した町独自の「深浦町漁業者経営継続給付金事業」を創設し、漁業活動の漁業収入額に応じた給付金を支給しているが、遊漁船業は、漁業を営む活動とならないことから、漁業者経営継続給付金の対象外となる。しかし、主たる事業が遊漁船業であれば、事業者に対し実施している「事業維持支援金」に該当する。主たる事業が「漁業」であるか、「遊漁船業」であるかによって該当する支援金が異なるので、各漁協に対して「事業維持支援金」についても周知していく。

①一人目の借り受け期間中に、同一世帯の2人目に貸し付けを行わない理由は、償還期間が重なり、その世帯の返済の負担が増すことで、滞納することが懸念されることから、1人目の借り受け期間中に、同一世帯の2人目以降に貸し付けを行うのは、新たな滞納者が生じる可能性があるため、制度の見直しは、慎重に検討する必要があると考えている。



深浦町高等教育修学支援制度とは、大学や短期大学に進学する人たちの中で、経済的支援が必要な世帯に対して、町が無利子で貸し付けを行う制度です。

②新型コロナウイルス感染症の影響で保護者や学生たちの収入が減っていると思われるので、貸し付け対象者を追加募集するなど対策が必要と思うが。

## 高等教育修学支援金制度について

問 大高議員

①この制度は、同一世帯で1人まで（現在借り受けしている子がいる場合は貸し付けしないものとしてます。）とある。この制度を見直すべきと思うが、考えを伺う。

②新型コロナウイルス感染症の影響で保護者や学生たちの収入が減っていると思われるので、貸し付け対象者を追加募集するなど対策が必要と思うが。

答 《町長》

②今年度、新たに高等教育修学支援資金の借り入れを申し込んだ大学生が5人で、審査の結果、この5人に決定した。年間の可能貸付者数は、大学10人、短大等10人なので、貸し付けにはまだ余裕がある状況であり、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減ったことにより、年度途中からでも高等教育修学支援資金の借り入れを受けたいといった問い合わせは、現時点ではないが、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減る方がいるものと思われることから、追加募集の周知をしたい。

# 町政をただす



おお たか つね ぞう  
大高 恒藏 議員

## コピット 問 COVID-19（新型コロナウイルス感染症）に対する今後の取組について

答 今後も新型コロナウイルスが及ぼす影響を注視しながら、必要な対策を講じたい

①提案の宿泊助成と同様の事業

問 大高議員  
経済対策支援に落ち度がないか再検討し、計上できなかった支援事業や更なる支援増を考えると、県内外の宿泊者にも当てはめて来年2月末まで助成してはどうか。また、3千円で5千円の買物ができるクーポン券の発行もできないか。

②町独自で事業者（個人を含む）への家賃の支援を考えられないか。

③高校生の自動車通学者に定期代3か月分の助成やアパートなどに入居している場合の家賃3か月分を助成できないか。

④我が町でも高校生以上の学生の保護者に自宅通学5万円、自宅以外は10万円給付できないか。

⑤遊漁船の利用減少により相当厳しい状況になっている漁業者を救うために条件なしで10万円支給できないか。

に、青森県が実施している「おもい宿泊キャンペーン」があり、町民が町内の宿泊施設を利用する際にも割引対象となる。また、11月より深浦町観光協会が宿泊施設、飲食店、土産品販売店やガソリンスタンドで使える額面1万円のクーポン券を、販売金額8千円で1200セット発行する。この事業は、閑散期となる冬季の需要喚起策で、町民の利用をはじめ津軽一円から誘客促進を図り、新型コロナウイルスの影響が特に大きい観光事業者の支援を狙いとする。

なお、新型コロナウイルスの影響が長引くことに対応するため、次年度においても抽選会付大売出しの実施に向け、今年度の大売出しの実績を検証の上、提案のあった内容も踏まえながら、地域経済の回復につながるよう事業内容に工夫を凝らしていきたい。

②国は、法人・個人を問わず対象とした「家賃支援給付金」制度を設け、7月14日より受付を開始している。また、青森県では、商工業者、農林水産事業者



を対象に、一事業者あたり10万円を給付する「青森県新しい生活様式対応推進応援金」を創設し、9月30日まで受付をしている。

当町の多くの事業者は自店舗で営業を行っており、町独自の家賃支援を行う必要性は低いものと考えます。

③県内の他市町村の動向を見ても、新型コロナウイルスの影響により、高校生に対して定期代や家賃を支援する動きはない。ただし、来年度以降は、遠距離

# 町政をたどす

者が最長30年間利用できるようになった。

先般、国が公表した再エネ海域利用法における今後の促進区域の指定に向けた有望な区域として、青森県沖日本海（北側）、青森県沖日本海（南側）の区域が協議会の組織等の準備に着手する有望な区域に選定された。有望な区域に選定された2区域は、促進区域の指定に向けて法定協議会が組織されるので、当町も南側の法定協議会に参画を予定している。

青森県日本海（南側）の有望な区域の選定に当たっては、再エネ海域利用法に基づき、事業者の情報や県が国に情報提供した海域データから、車力沖から赤石沖の海域が選定され、今後その海域を促進区域の指定に向けて、国による風況・地質調査等が実施される。

今回、当町の海域は含まれていないが、これは、現在公表されている4事業者の発電設備の整備計画が、水深50メートルまでの海底に設置できる「着床式洋上風力発電」により計画が

策定されているためで、当町の前沖は、水深がすべて50メートル以上となることから、「着床式」に適した海域が狭く、対象となる区域がないことが理由に挙げられる。

なお、選定された区域が青森県日本海（南側）の促進区域として協議が進められているため、新たな区域の追加等はない。

新たな区域が有望区域に選定されるためには、再エネ海域利用法に基づき、今回と同様に促進区域の指定に係る県から国への情報提供等のプロセスが必要となる。

当町の海域でも対応できる発電設備としては、水深100メートルを目安として設置できる「浮体式の洋上風力発電」もあるが、現段階では「着床式」より建設コストが割高で、海外・国内でも発電実績が少ないため、当町の海域を対象とした環境アセスメントや海域調査等、事業者による具体的な手続を踏まえた事業計画が、今はない状況にある。今後、「浮体式」による具体的な事業計画がある場合に



▲洋上風力 ※写真はイメージです。

は、当町としても、洋上風力発電事業による地域経済の活性化に向けて取り組みを推進していく。

②陸上風力発電事業は、現在、株式会社グリーン・パワー・インベストメントが事業を計画し、(仮称)深浦風力発電事業として、平成31年春に工事に着手し、発電運転を令和4年に開始する計画だったが、送電線の系統連系確保や計画用地確保等の諸事情で、事業に遅れが生じ、よう

やく工事着工の目途が立ち、令和3年10月の着工に向けて許可等の事務手続を進めている。

令和6年4月からの商業発電運転開始を目標に、発電容量7万3千6百キロワット、1基あたり4千2百キロワットの大型風車を19基前後建設する予定としている。

このほか、小型風力発電は、導入件数及び認定件数を合わせて、現在280件余りの申請件数となっている。

# 町政をたどす

## 木造高校深浦校舎 募集停止について

**問** 大高議員

①県教育委員会との協議の経過と最終結果について伺う。

②来年度募集停止により現在の中学校3年生から他の高校に進学することになるが、生徒・保護者にとどのような支援を考えているのか。

③この3年間、町は要望も陳情も何の対策も立てずに今日に至った。町長の感想は？

また、最終結果は、10月開催の県教育委員会会議において、令和3年度募集停止が決定される予定で、そこで決定となった場合は、令和5年3月で閉校となる。

②令和3年度から募集停止となった場合、公共交通機関で他校に通学する生徒が増えることが予想されることから、町内の中学校を卒業後、高校に在学中の全高校生を対象に、通学手段の確保や交通費の支援等について検討したい。

③平成29年7月に策定された青森県立高等学校教育推進計画第1期実施計画では、地域校となった場合、「募集人員に対する入学者数の割合が、2年間継続して2分の1未満となった場合、募集停止等に向けて市町村と協議する」となっていたことは、十分承知している。

昨年度、総合教育会議を開催し、深浦校舎の今後について協議を行ったが、教育委員会の委員からは、募集停止の流れを止めることは難しい状況なので、募集停止となった後の教育の支

援等について、力を注いでいただきたいとの意見があった。

また、県内の他市町村の動向を見ると、地元の高校存続のために署名活動を行い、町と町議会が一丸となって陳情・要望等を行ったが、成果は表れていない。

このことは、県高等学校教育改革推進室との協議の際にも、陳情等の効果について確認したが、計画に基づいて粛々と高校再編を進めているため、陳情等を行うことによって深浦校舎の募集停止が延期や中止になることはないとの回答をいただいている。

私も、できることならば、何とかして深浦校舎を残したい、そういった思いは強くある。しかしながら、このような現状をしっかりと認識すると、残念ながら、県教育委員会の方針を受け入れるしか方法はないものと思っている。

今後は、深浦校舎の募集停止を回避できない状況を考慮し、募集停止以後の町内の高校生の交通費支援などの対応へ、考え

方をシフトしていく必要があると考えている。

**問** 大高議員

①日本海側の青森西北沖は日本でも最高の風況地区と言われているが、現在4事業者が計画中しかし、洋上風力発電事業に深浦町の沖合が全然計画にないのは町が反対しているからなのか経過と今後の取り組みについて伺う。

②陸上風力発電の計画がまだあるのか伺う。

③太陽光発電の計画があるかどうかと聞いているが町として関わっているのか。

**答** 町長

①今年度は3回、青森県高等学校教育推進室と協議を行った。協議の内容は、木造高校深浦校舎の令和3年度募集停止について、改めて町の意向を確認し、今後のスケジュールと通学が困難な地域の生徒の対応について、協議を行った。

県教育委員会では、6月開催の県教育委員会会議で、当町と木造高校深浦校舎の令和3年度募集停止について協議中であると説明している。

また、最終結果は、10月開催の県教育委員会会議において、令和3年度募集停止が決定される予定で、そこで決定となった場合は、令和5年3月で閉校となる。

②令和3年度から募集停止となった場合、公共交通機関で他校に通学する生徒が増えることが予想されることから、町内の中学校を卒業後、高校に在学中の全高校生を対象に、通学手段の確保や交通費の支援等について検討したい。

③平成29年7月に策定された青森県立高等学校教育推進計画第1期実施計画では、地域校となった場合、「募集人員に対する入学者数の割合が、2年間継続して2分の1未満となった場合、募集停止等に向けて市町村と協議する」となっていたことは、十分承知している。

昨年度、総合教育会議を開催し、深浦校舎の今後について協議を行ったが、教育委員会の委員からは、募集停止の流れを止めることは難しい状況なので、募集停止となった後の教育の支

援等について、力を注いでいただきたいとの意見があった。

また、県内の他市町村の動向を見ると、地元の高校存続のために署名活動を行い、町と町議会が一丸となって陳情・要望等を行ったが、成果は表れていない。

このことは、県高等学校教育改革推進室との協議の際にも、陳情等の効果について確認したが、計画に基づいて粛々と高校再編を進めているため、陳情等を行うことによって深浦校舎の募集停止が延期や中止になることはないとの回答をいただいている。

私も、できることならば、何とかして深浦校舎を残したい、そういった思いは強くある。しかしながら、このような現状をしっかりと認識すると、残念ながら、県教育委員会の方針を受け入れるしか方法はないものと思っている。

今後は、深浦校舎の募集停止を回避できない状況を考慮し、募集停止以後の町内の高校生の交通費支援などの対応へ、考え

方をシフトしていく必要があると考えている。

**問** 大高議員

①日本海側の青森西北沖は日本でも最高の風況地区と言われているが、現在4事業者が計画中しかし、洋上風力発電事業に深浦町の沖合が全然計画にないのは町が反対しているからなのか経過と今後の取り組みについて伺う。

②陸上風力発電の計画がまだあるのか伺う。

③太陽光発電の計画があるかどうかと聞いているが町として関わっているのか。

**答** 町長

①国は、洋上風力発電の導入推進に向けて、昨年4月に、海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に係る法律、いわゆる再エネ海域利用法が施行され、国が促進区域に指定した海域で、発電事業

は、当町としても、洋上風力発電事業による地域経済の活性化に向けて取り組みを推進していく。

②陸上風力発電事業は、現在、株式会社グリーン・パワー・インベストメントが事業を計画し、(仮称)深浦風力発電事業として、平成31年春に工事に着手し、発電運転を令和4年に開始する計画だったが、送電線の系統連系確保や計画用地確保等の諸事情で、事業に遅れが生じ、よう

やく工事着工の目途が立ち、令和3年10月の着工に向けて許可等の事務手続を進めている。

令和6年4月からの商業発電運転開始を目標に、発電容量7万3千6百キロワット、1基あたり4千2百キロワットの大型風車を19基前後建設する予定としている。

このほか、小型風力発電は、導入件数及び認定件数を合わせて、現在280件余りの申請件数となっている。

# 町政をただす

# 町政をただす

## 災害時の避難所確保とCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)の関係について

**問** 大高議員

①水害や津波による災害時にCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)との関係を考慮して避難所を確保する体制を急ぎ、訓練も必要と思うが、  
 ②一人暮らしや65歳以上の人たちの現状を把握し、即対応できる体制を作れないか。

**答** 町長

①町では、国、県からの「避難所における感染症対策のための指針」に基づき、関係課連携のもと、災害時の避難所の確保とともに、避難所内のレイアウトや運営方針については、既に検討・確認を行っている。  
 更に今年度は、「津波防災の日」に当たる11月5日に、深浦町防災訓練を予定しており、コロナ禍の避難所開設・運営訓練も計画している。

## 野良ネコの対応について

**問** 大高議員

①野良ネコを町で捕獲することはできないが、住民が保護した場合は引き取って動物愛護センターに引き渡すことができるので住民による組織を作り対応する対策を指導すべきと思うが町の考え方は。  
 ②令和元年6月19日に動物の愛護及び管理に関する法律の一部を改正する法律が公布され、令和2年6月1日に施行されたが野良ネコに関する苦情を対応する部署の体制はどうなっているのか。  
 ③マイクロチップを装着し野良ネコと区別して家の中で飼うようにしてもらおうよう指導すべきと思うが町の考えを伺う。

**答** 町長

①本年6月1日から「動物の愛護及び管理に関する法律等の一部を改正する法律」が施行され、犬及び猫の引き取り要件が厳格化された。

また、コロナ禍での避難所の運営に欠かせない、消毒液や防護服、非接触型体温計などの消耗品や備品も順次購入しており、避難所の運営スタッフとしての町職員向けの訓練も10月に予定している。

そのほか、今年8月には、要配慮者の避難先として町内の旅館・ホテル等の宿泊施設を借り

青森県動物愛護センターでは、所有者のいない自活できる成猫(大人の猫)は原則的に引き取り拒否となった。  
 ただし、複数の住民から同一猫による周辺環境の悪化に関する苦情があった場合は協議の上、対応することになる。  
 引き取りを行う場合でも、相談者がセンターまで猫を持ち込むことが前提で、飼い猫や餌やり猫は有料となる。  
 改正により以前のように住民が保護した場合など、容易にセンターに引き取ってもらえないことから、保護を目的とする住民による組織づくりは困難と考えている。  
 ②当町では、町民課町民生活係が担当し、県動物愛護センターと協議して対応している。  
 ③法改正により令和4年から犬猫の繁殖業者等にマイクロチップ装着・登録を義務付け、一般の犬猫所有者は努力義務となる。マイクロチップ装着は、逃げ出した時に標識となるだけでなく、遺棄の防止につながる。従来から、飼い猫は基本的に

受けることから、深浦町旅館組合との協定を締結した。  
 今後、細部にわたる検討を重ね、いつ起こるか分からない災害に備えていきたい。  
 ②町では、「災害対策基本法」において義務付けられている「避難行動要支援者名簿」を作成している。  
 この名簿には、80歳以上の方

のみで暮らしている世帯、身体障害者手帳1種1級及び2級(肢体不自由、視覚障害、聴覚障害)の方、知的障害者(愛護手帳A)の方、精神障害者手帳1級及び2級で一人暮らしの方、介護度が要介護3以上の方、常時特別な医療を要する在宅療養者等となっており、自力避難が困難な方の現状は把握している。避難行動要支援者名簿は、災害発生時や発生するおそれがある場合に円滑かつ迅速な避難支援をするために活用するもので、名簿情報は、突然起こる災害に備えて、平時から避難支援等の関係者となる消防署、消防団、警察署、民生児童委員、社会福祉協議会、自主防災組織等と情報を共有し、避難行動時により有効に機能するものと考えている。



新型コロナウイルス対策避難所開設・運営訓練の様子



屋内で飼うよう指導しているが、マイクロチップを装着することで野良ネコとの区別ができることから、併せて指導して行きたいと考えている。  
 今後、引き続き野良ネコへのおやみな餌やりの禁止、飼い猫を屋外へ野放しにしないことや繁殖を防ぐための避妊去勢手術の指導を行っていききたい。

町政をたどす

株式会社ふかうら開発の経過と今後について

問 大高議員
ふかうら開発は、健全化計画を立て再出発の予定と全員協議会で説明をしていたが、何の前触れもなく新聞に「ウエスパ椿山が10月末日で閉鎖する」と掲載され、びっくりしたものです。経過と今後について伺う。

答 町長

株式会社ふかうら開発は、公的部門の一部を担いながら、町観光振興の中核施設のひとつである「ウエスパ椿山」の管理運営を通して、地域活性化と町のイメージアップ、更には若者を中心とした雇用創出に寄与してきたが、経営状況の厳しさから平成27年度決算で債務超過に陥ったことを契機に、経営改革のための対策を進めるとともに、令和元年度には「株式会社ふかうら開発経営健全化に向けた抜本的改革2019」に基づき取り組みを、令和2年度から本格

的にスタートさせようとしていた。

この改革プラン2019は、令和元年の11月に策定したが、かねてからの厳しい経営状況に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な売り上げの減少、更に、施設の維持管理や老朽化に対する多額の改修経費が見込まれる状況の中、ウエスパ椿山事業の継続については、金融機関からの借り入れも視野に入れ、ぎりぎりまで検討したが、株式会社ふかうら開発の将来的な経営の展望、雇用維持町の財政負担等々、様々な角度から慎重に検討した結果、町の基本方針として、町と株式会社ふかうら開発とで締結している「深浦町ウエスパ椿山施設等の管理運営に関する基本協定」いわゆる指定管理を、令和2年10月で解除することとなった。

この決断に至る経緯については、6月2日の朝に、同様の説明をふかうら開発の社員に対しても行った。また、6月4日に開催した株式会社ふかうら開発の取締役会においても、同様の

説明をし、了承を得ている。

ウエスパ椿山施設の10月末での閉鎖について新聞報道された際は、町民をはじめ、これまでウエスパ椿山にお越しいただいた県内外のお客様方からも、驚きと同時に惜しむ声もいただきましたが、町としても苦渋の決断をするに至った経緯は、最低限の順序を踏んで御説明したと考えている。

その後の経過と今後について、ウエスパ椿山関連施設の指定管理を令和2年10月末で解除し、株式会社ふかうら開発の存続とバス事業や受託事業の継続は、いずれも変更はない。

また、自主事業である水産加工事業及び食堂事業は、現在、各々の事業を引き継いでいただける事業者様と協議を重ねている状況で、最終的には取締役会等での判断になる。

最後に、ウエスパ椿山事業に従事している社員について、町として雇用維持のための対策を講じるとしていた部分は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、町独

質疑応答

町のホームページ更新しているの？

問 岩谷司委員

昨年、定期的に町のホームページを見ていたが、新しい事業の周知や入札関係以外、ほとんどの内容が3か月以上更新されず同じ状態だった。ホームページとして成り立つのか。

答 吉田町長

更新は必要だと思う。定期的に更新するように指示し、必要であれば各データを集め編集する専門を置くなど検討する。

決算に関する特別委員会

令和元年度歳入歳出決算・令和2年度補正予算ほかを審議

委員長報告



決算に関する特別委員会 委員長 齊藤 登

決算に関する特別委員会は、委員長に齊藤登議員、副委員長に小野信吾議員が選任され、9月7日から9日までの3日間にわたって、令和元年度決算関係議案8件、令和2年度補正予算関係議案8件、条例の制定・改正に関する議案7件、その他の議案3件、合計26件について審議しました。審議の過程では、各般にわたり十分に議論が尽くされ、多くの意見・要望事項が提言されました。その中から6項目を抜粋しました。

1 町の公式ホームページについて、行政サービスや町の魅力をわかりやすく常に更新し、情報提供に努めていただきたい。

2 ふるさと納税の返礼品について、趣向を凝らした魅力的な返礼品の充実とPRに取り組む必要がある。

3 沿岸漁場の機能回復により魚介類の水揚げ向上や自然の復元を図るため、今後も藻

場造成試験を継続して実施していただきたい。

4 除雪車の入れない狭い町道や高齢者世帯等の家の前に置いて行った除雪後の雪の排雪等について、関係機関で協議し柔軟に対応していただきたい。

5 北金ヶ沢地区漁業集落排水施設が供用開始して間もないが、整備目的である海や川の水質保全、生活環境の向上のため加入促進に努めていただきたい。

6 株式会社ふかうら開発とのウエスパ椿山施設の基本協定解除後の温泉スタンドの利活用について、考えられないか。



### 【ふるさと納税返礼品】

PRを工夫しては？

問 小野信吾委員

ホームページへの掲載や深浦町のいい食材の利用を高め、より良いプロモーションをすれば、ふるさと納税の収入が伸びるのではないか。

答 吉田町長

当町では、(株)あもり海山がそのアイデアとやる気で、成功している。風合瀬のいか焼き村にも、冷蔵庫等々があり、加工する人もいるので、いいと思う。ふかうら牛の場合、冷蔵庫は補助金で設置できるが、維持管理経費の関係で、なかなか前に進まない。



▲ホームページ上での返礼品紹介例

ふるさと納税ポータルサイトからも返礼品の確認や申し込みができる。

問 工藤博利委員

ホームページに掲載する返礼品の写真をプロにお願いするとか、返礼品の詰め合わせセットなど、どんどん考える努力をしてほしい。

答 黄金崎総合戦略課長

今年度の対応としては、返礼品の掘り起こしもそうですが、ホームページから飛んでいくPRサイトに「楽天」を1つ増やしたい。

### 【藻場造成試験】

効果のある方法で！

問 藤田一則委員

磯焼け対策に全国的にフルボ酸を使った藻場造成が行われ、効果があるようなので、予算を付けてやってもらいたい。



藻場造成試験の様子

答 黒滝理事(農林水産課長)

アカモクの藻場造成試験を新深浦漁協にお願いして、継続して場所を変えて実験をしている。県では、水産環境整備事業として、コンクリート製の藻場造成場を追良瀬沖と岩崎沖に稚魚育成、親魚の産卵場所となるよう実施している。

フルボ酸については、それぞれの海域に有効な施肥は何か検討しながら事業を進めている。

### 【除雪・排雪】

体制を整えて！

問 岩谷司委員

崎の町集会所裏の排雪路線(町道)が、雪がかなり積もらないと排雪をしない。一昨年は1回、その前はしてない。道路も狭く、有事の際に救急車が入れない。現地を見て回って、ある程度国道との差が出た時に、すぐ排雪できるような体制を整えて欲しい。

また、高齢者世帯が増え、特に一人暮らしの老人宅の玄関先に置いていく除雪のかたまりを排雪できるような体制を町で整えられないのか。

答 熊沢理事(建設課長)

排雪路線については、幅員が狭い、又は特に路上駐車等が多いなどで、地区の行政連絡員と相談して、排雪の実施を協議して行っている。深浦では、崎の町や家の下(5区)は、地域の事情も考慮しながら対応していきたい。

### 【6次産業化】

進んでいるのか？

問 今勝吉委員

最近、6次産業化の話が出てこない気がする。1年、2年前まで山椒とか、非常に議論されたことを記憶するが、それがパツと最近消た。山椒だけでなく、ある程度商品のプロモーションなどに経費を掛け商品開発しないと他の自治体に遅れてしまう、そういう気がするが、町長の考えは。

答 吉田町長

停滞しているわけでも何でもない。山椒は、大きくなった。今は、新型コロナの関係で静かにしている充電期間だと思っている。実績を残してやって行けば、ピーターも信用も付く、これから経営方針、スタイルも変わる過渡期なので、御理解いただきたい。

### 【漁業集落排水】

加入促進に努力を！

問 小野文之委員

北金ヶ沢地区漁業集落排水が今年4月1日から供用開始した。当初の計画より遅くなったので、遅れたお詫び方々、加入をお願いしてまわる努力も必要でないか。

答 米合理事(水道課長)

北金ヶ沢地区の漁業集落排水事業の整備に16年掛かった。本来であれば供用開始時、若しくは供用開始前に、加入促進の説明会をするべきだが、コロナ禍ということもあって、3密も懸念されたことから、



▲北金ヶ沢地区漁業集落排水処理場(関地区)

### 【ウェスパ椿山】

温泉の活用は？

問 工藤博利委員

ウェスパ椿山が10月いっぱい閉鎖となる。先日の全員協議会で齊藤登議員から、温泉について質問したら、閉鎖すると総合戦略課長が言った。そうすれば、自噴している温泉は流しっぱなしにするのか、それとも塞いでしまうのか。また、温泉スタンドからお湯を持って行き温泉という名前前で商売をしている業者があるが、どうするのか。温泉スタンドだけは、第三セクター業務でやってもいいのでは。

答 吉田町長

温泉が自噴して、町民のニーズがあるのであれば、どう活用するかを考えて、前に進むと思う。もっと安く、利便性のある温泉にしたいのか、利活用については、改めて仕切り直すべきだと考える。



▲ウェスパ椿山施設内にある温泉スタンド

答 黄金崎総合戦略課長

今現在使っている展望露天風呂の温泉は、る過をして使っている。一旦閉鎖した上で、どうあるべきか、どういう活用の仕方がいいのか、今後検討する予定。

また、温泉スタンドを利用している、業者にはウェスパ椿山を閉鎖することで、このスタンドは今のところは閉鎖せざるを得ないという話は伝えている。

# 深浦小学校6年生18人が議会を見学！

9月8日(火)社会科校外学習として、議会の役割や仕組みを知り、政治に参加する気持ちを育てるねらいで見学に来ました。

委員と参与の審議のやり取りを聞いて、議会の様子や仕組みを理解し、関心を深めたようです。感想文が届いていましたので、抜粋してご紹介します。また、当日は新型コロナウイルス感染防止に配慮し、教員及び児童を時間制による入れ替え制で行いました。

「町民のため、町の活性化を考えていることが分かったー！」  
今日、議会を見に行きました。税について最初話合っていたことが分かりました。ほくは、議会を見ていて、議員さんたちは、質問していました。なぜ、質問に対して答えた税務課長や財政課長以外の課長は、質問をしないのか不思議でした。ほくは税金を増やすためには、一人一人500円と決めて払うと月390万円町民から税がもたらえると思います。つまり、町民から、税をもっともらうべきだと思います。

「ぼくたちのために…明るく元気な町にしてー！」  
ほくは、議会を見て「ぼくたちのためにこんな真剣に話してくれているんだなあ。」と思いました。そのわけは、議会をする場所がとても静かだったし、相手に向かって話している視線を向けて真剣に話していたからです。ほくは、特に席の位置が気になりました。どうしてかというところ、「どうして席の位置があのようになってくるのだろう。」「席の位置には、どんな意味があるのだろう。」と思っただけです。ほくは、議会が国会と同じようなものだと感じていたんですけど、ちがいました。今日は、町議会という、き重な場面を見て本当に良かったです。

「小中学生に関係がある話し合いもしてー！」  
ほくは、これから深浦を明るく元気な町にしてみたいと思います。そのためには、いろいろな問題を解決して平和な町にする必要があると思います。



▲議場で見学している様子

## 私たちが見学して思ったこと

としました。議会では、町民のためになることや、町を活性化させるための事を考えていることが分かりました。

な町にする必要があると思いませんか。

かが分かりました。一つ一つ分かりやすく、まとめて言っているのがすごかったです。どうしたら良くなるかなどを、みんなで意見を出し合っているというところも分かりました。例えば、確かにこの言葉を使っている人があきらかに少ないのかなと思うときもあり

## 【八森山町民の森】遊具の整備は？

問 工藤博利委員

町民の森公園等の管理の中で遊具の解体業務が行われた。これは危険な遊具だから解体したと思うが、町民の森公園に子供たちが遊べる遊具がないと父兄の方からも言われる。せっかく遊びに行っても、ゴルフ練習場や野球場はあるが、子供用のすべり台があるだけだ。なぜ、幼児が遊べる遊具を整備しないのか。

また、町全体見ても、公園にあまり遊具が少ない感じ。遊具は必要と思うので、再度検討し、設置していただきたいと思うが、町長の考えは。

答 松沢理事 (財政課長)

八森山町民の森公園には、様々な遊具があつたが、老朽化で危険が及ぶため解体を進めてきた。今残っているのは、大型のすべり台のみとなつて

いる。ただ、お子さんをお連れのご家族は、結構、町民の森を散策して楽しんでるふうに見える。遊具があるなしに関わらず楽しめるような管理の方法を考えていきたい。

答 吉田町長

当町の一つの財産として、一人親方(ひとりおや)がたくさんいる。それぞれの職能で、すべり台、ブランコほか子供たちに残せるような深浦特産のおもちゃができるのであれば、次の仕事としては最適であると思うし、これからのまちづくりのために、子供や家族を意識し、若い人たちの定住につなげたい。



▲八森山町民の森にある大型すべり台

## 【生きいき健康福祉祭】必要性は？

問 藤田一則委員

ダイヤモンド婚や金婚、米寿を祝っているが、もう今の時代88歳は珍しくない。顕彰者が一堂に介して、町長から一人一人に顕彰状を渡すのは、税金を使った選挙運動ではないか。何の目的で必要性はあるのか。地区の老人クラブなどで祝ってもらうなど、いろいろやり方があると思う。

答 吉田町長

ご指摘のように見直す時期です。また、開催時期が稲刈り前で、非常に暑いです。エアコンのない会場で、私の判断で今年は新型コロナの関係もあって中止し、来年度以降も、大いに見直すべきだと思います。

答 吉田町長

今、商工会の女性部の方々がお店を出してやっている。あの施設をまるごと市場に移動するなどの案も考えられる。非常に狭く商売するのにも不具合があると思うので、何らかの機会に出店者の方々と話をしながら、もっと発展的にやられた方がいいと考えている。

## 【門前広場の緑地帯】駐車場にしては？

問 岩谷委員

円覚寺前にある門前広場緑地帯を観光バスなどが止められる駐車場に整備してはどうか。



▲門前広場の緑地帯

「人生で初めての議会」  
 今日は人生で初めて議会に行きました。議会のふんいきがものすごく圧がすごかったです。初めての議会の印象は、ものすごく深浦町の子ども達や、家族お年寄りのことを思っているなと思いました。タバコ税や、特別ごみ税など、税金の使い道をどう使うか、くわしく話していて、そんなに、深浦町民のことを思ってくれていたんだなあと思いました。みんなのことを思い、悩み、発言し、とってもカッコいいなあと思いました。途中で笑いやクレーンなどが飛んできていて、すごくかわかったり、すごくなごんでいたりでいて、議会とはこういうものなんだなと思いました。私のイメージは、一つの事を何十分もかけてやっていると思っていましたが、ちがいました。その話し方もいいはんなりの中で、話し合うという、想像とちがっていて、びっくりました。小学校でも年に一度、討論会みたいながあります。そこで議員さんたちのように質問にバツと答えられて、自分の意見をハキハキ

「資料の紙の量にびっくり」  
 始めは、どのようなことについて話し合っているのかがよく分かりませんでした。でも、議会の様子などが何について話し合っているのかが分かりました。町の議会は見たことがなかったので、少し想像ができませんでした。資料の紙の量にびっくりしました。教科書よりありそうな厚さで私は読むことすらできないと思います。そして、議会の様子を見学させてくれてありがとうございました。これからの町を新しく、明るい町にしてください。私もこれからの社会を笑顔でいっぱいになるように自分のできることをやっていきたいと思います。



▲議場で見学をしている様子

### 議長からのメッセージ

9月定例会は、コロナ禍における感染症対策の徹底を図るため、傍聴をお控えいただくなどの対応をとらせていただきました。傍聴を予定されていた町民の皆様には、御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

当町においては、新型コロナウイルス感染拡大により、10月中旬に町民1人の感染が確認されているところです。

全国的に感染拡大が続く中、陽性患者やその家族、濃厚接触者、医療従事者、また関係する職場や学校等に対する誹謗中傷など、不当な差別に関する報道が多く見受けられ、大変心を痛めております。感染者の多い地域と往来する場合は、人ごみ、クラスターの発生するリスクのある場所を避け、「3密」の回避、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、マスク着用など、基本的な感染防止策を徹底していただくようお願いします。

町民の皆様におかれましては、正確な情報に基づき、冷静かつ思いやりのある行動をお願いいたします。

私たち深浦町議会は、町長はじめ執行部との連携・協力の下、町民の生命と生活を守るため、全力で取り組んで参りますので、一層の御理解と御協力をお願いいたします。

令和2年11月

深浦町議会議長 小野 文之



▲▼控室のモニターで視聴している様子



ました。話し合っていることは大人の人だけでなく、小学生や中学生の人にも関係があるということもよく分かりました。あの、とても暑い中、いろんなことを言っている人がすごいなと思いました。勝手に話を進めるのではなく、みんなの意見を出し合って進めていました。数で表したり、資料のページで表しているのが、きくと聞いている人もわかりやすかったと思います。ふだんは分からないことも知れてよかったです。

「町をより良くするため頑張っていることが分かったー」  
 想像はもっとさわがしいというイメージだったけど、結局静かな議会だった気がします。私からしたら、難しい質問を簡単そうに答えている町長さんや財政課長さんなどがとてもカッコいいと思いました。話についていけない所もあったけど、意見を述べる人と意見に対して答える人どちらも深浦町をよりよくするため、頑張っているということが分かりました。

みなさんが真剣な顔で参加していて、私の方まで真剣にメモをとって深浦町の問題を知ることができました。  
 深浦がどうい問題を抱えているか、分からなかったのが今回議会見学できてとても嬉しかったです。  
 私の理想の町は、高齢者に対しての若者の行動が増え、町全体の人が笑顔でいることができれば、私の理想です。理想なので実現することが難しいかもしれませんが、こんな町になつたら、私はとても楽しく過ごせます。  
 この理想の町を造るためにできることは、いろいろな人とおしゃべりしたり、高齢者に対しての態度や行動を少しずつ変えて一緒に楽しんで毎日の楽しみみたいです。  
 役場のみなさん、町長さん、私たちの暮らしを支えてくれている方々、いつもありがとうございます。私たちも頑張りたいと思います。私たちが頑張りたいです。これからも深浦町でより安全に暮らせるように頑張ります。

「本音を言うと、少しおもしろかったー」  
 今日、見学で議会の話し合いで、ものすごくだけと少しほんわかしている感じで、本音を言うと、少しおもしろかったです。とちゅうで本みたいなのを見ながら3けたのページ数を見ついで、とてもびっくりしました。今回は、たぶん税の話をしていて、深浦町以外の話も入っていて、やっぱり議会の人はすごいと思いました。  
 話し合いの時、マイクを使ってもよく聞こえない時があったのでその時があったらもう少し声を出してくれたらうれしいです。とちゅうでやさしい言葉で話してくれたり、深浦小学校の人もいるからと言う理由で質問したりしてくれてありがとうございます。

「ちよつと、こわいなあと思ったー」  
 私は、ちよつとこわいなあと思いました。なぜならば、1人言えば、その人にみんなが答えてたりしてちよつとこわいなと思いました。  
 委員長さんを中心に話していて、手をあげて発表しているのが、授業みたいだなあと思いました。はじめて見たけれどテレビで見ると、本当に見たほうが、全体が見えておもしろかったです。  
 自分の考えをみんなに、はっきりいっているところがカッコイいなあと思いました。今日、見ることができて、とても良かったし、議会で、未来のことや、小学生のことも考えてくれている人もいて、カッコイイと思いました。  
 これからの深浦町をもっとみんなが暮らしやすい深浦町にしてほしいと思いました。

# 議員管内視察

## 9月11日(金)

小野議長ほか、議員10人がエコクリンファイ（ごみ焼却・粗大ごみ処理施設）を視察した。平成13年供用開始から今年で19年目となった当該施設は、老朽化により処理能力が著しく低下し、焼却機能を維持するためのコストが年々多額になり、大規模改修の必要性が課題となってきた。

現地では、職員から現在の施設の状況について説明を受けた。



# 議会活動

## 議会運営委員会

9月1日(火)

### 協議事項

- 1 深浦町議会108回定例会の日程について
- 2 決算に関する特別委員会設置について
- 3 陳情について
- 4 発議について
- 5 6月定例会で付託された陳情の審査結果について
- 6 閉会中の継続調査・審査の申出について

## 総務文教常任委員会

8月20日(木)

### 所管事務の調査

- 1 地域医療体制の確保について
- 2 人口減少対策について
- 3 伝統芸能等の継承・保存に関すること

### 付託案件の審査

- 1 看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情

## 産業建設常任委員会

9月7日(月)

### 所管事務の調査

- 1 水産試験事業の追跡調査について
- 2 定住住宅の現状と計画

## 広報編集委員会

10月2日(金)

- ・ 広報第63号の編集について
- 11月4日(水)
- ・ 広報第63号の編集について

## 全員協議会

9月1日(火)

### 協議事項

- 1 令和元年度決算の概要について
- 2 青森県日本海沖洋上風力発電の動向について

## 広報編集委員会

委員長	斉藤 登	副委員長	亀川 肇
委員	藤田一則		今 勝吉
	岩根 環		岩谷 司

(発行者) 議長 小野文之

議会に対して、ご要望・ご意見がありましたら、議会事務局あてにご連絡ください。

電話番号 (代) 74-2111 (内202)  
(直) 74-4418